

背景

- 新潟市体育館や鳥屋野運動公園野球場といったスポーツ施設は、建築後約60年が経過し、老朽化が進んでいる状況。
- 市民やスポーツ団体などからは大規模アリーナ等の設置を求める声。
- これからのスポーツ施設の改修を考えるにあたっては、スポーツイベントの開催はもちろん、施設を活用してまちの賑わいを作り出す視点も必要。

目的

- 「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設のあり方についての提言をいただき、将来的に、県など関係機関と連携しながら今後のまちづくりに活かすとともに、民間活力の活用による魅力あふれる官民連携の提案が寄せられることも期待。

委員名簿

No	氏名	所属・役職等
1	大野 公彦	株式会社新潟アルビレックスランニングクラブ 代表取締役社長
2	坂上 昭	公益財団法人新潟市スポーツ協会 副会長
3	谷川 朝美	一般社団法人新潟青年会議所 地域の魅力創出委員会 総括幹事
4	中山 正子	新潟商工会議所 新潟活性化委員会 委員
5	西原 康行	新潟医療福祉大学 副学長
6	山口 誠二	公益財団法人新潟観光コンベンション協会 専務理事
		(50音順 敬称略)

想定するエリア

- 白山公園から鳥屋野潟南部(「都心」および「都心周辺部」)

未来の設定

- 概ね20年度を見据えて議論

「県都・政令市にふさわしい」スポーツ施設の定義

- 国際・全国大会を開催できるなど高い機能を有する。
- イベントでも活用され、まちに賑わいが生まれ拠点化・活性化に寄与する。
- 防災拠点としての機能を有する。

主な意見

- 白山エリアをはじめとする「にいがた2km」周辺の「街なかエリア」では、「スポーツによるまちづくりと地域活性化」を図ることが望ましい。
- 「鳥屋野潟北部および南部エリア」では、「スポーツの活性化・余暇の充実」を実現する方向性が望ましい。
- 喫緊の課題である老朽化への対応として、鳥屋野運動公園野球場は鳥屋野潟南部エリアに移転して新築する方向性が望ましい。

提言書

- 明日3月28日に市長へ手交される。